

VII. 脳とこころの健康大国実現プロジェクト <参考2-①>

1. 認知症研究開発事業

新オレンジプランを受け、認知症の人やその前段階（前臨床期・軽度認知障害等）の人の全国的なレジストリ体制や、認知症の評価・検査方法の標準化等による臨床研究の実施支援体制の整備などにより、治療薬等の大規模臨床研究への即応体制の構築を開始した。



認知症の人やその前段階（前臨床期・軽度認知障害等）の人の全国的なレジストリ構築を開始

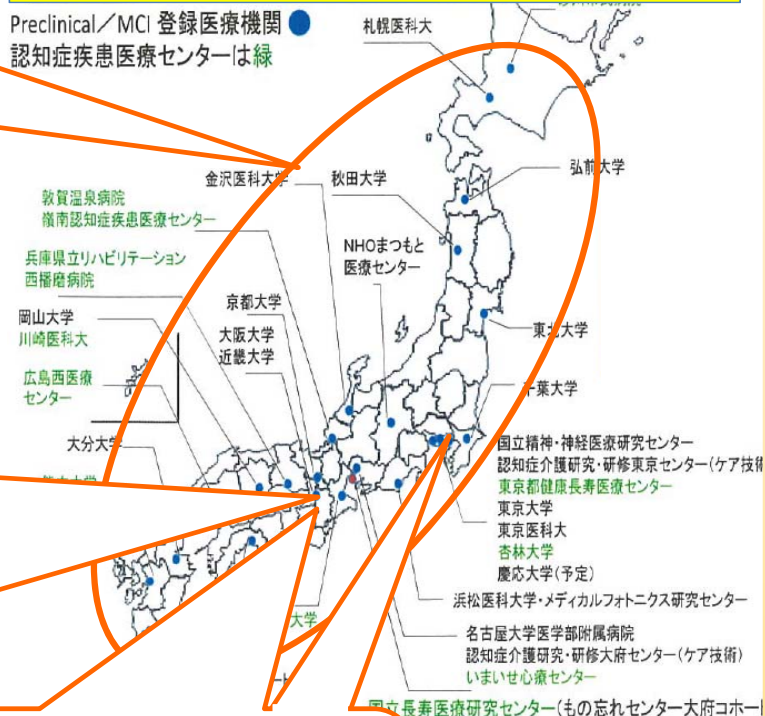


ICTを用いて行動心理症状に対する対応法等の情報を収集し、その中から適切な対応法（グッドプラクティス(GP)）と不適切な対応法（バッドプラクティス(BP)）を自動抽出し、結果を広く公開するシステム構築を開始

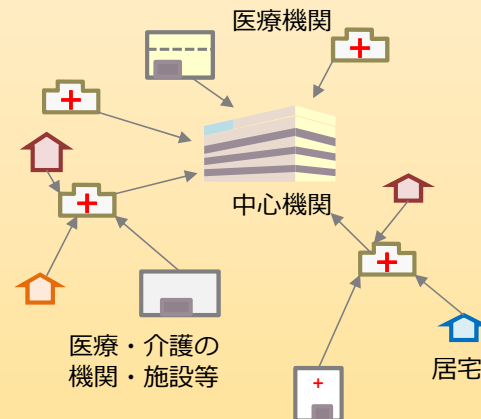
評価方法や検査方法の標準化や国際的な連携を念頭に置いたデータ共有プロトコール等の確立により、治験等の様々な大規模多施設共同研究を広く効率的に支援できるような体制（J-DCS（米国におけるADCS: Alzheimer's Disease Cooperative Studyの日本版））構築を開始

All Japan 大規模臨床研究への即応体制の構築

Preclinical/MCI 登録医療機関 ●
認知症疾患医療センターは緑



- 時間軸を考慮し、すべての参加者に恩恵のある登録・連携制度（オレンジプラットフォーム）を構築



- 各地の認知症関係の医療や介護の機関・施設等の協力を得て登録ネットワークを形成
- グローバルスタンダードに基づく根本治療薬候補の治験等の大規模臨床研究の効果的かつ速やかな実施に対応

健常状態から MCI への移行予測

Bio-M, Image
AMED-preclinical

MCI から AD への移行予測

J-ADNI

Preclinical

MCI

AD 病態の始まり

MCI に近い無症状期

知見の共有



インターネットレジストリ (健常者)

同意書

地域コホート
preclinical
介入研究
(大府、高浜など)

MCI
registry
同意書

オレンジ
プラットフォーム



治験の紹介

Risk Reduction 臨床研究の紹介

知見の共有

次世代コホート研究 (危険因子の解明) (久山町など)